『宝島』（たからじま、Treasure Island）

1883年に、それまで子供向け雑誌『Young Folks』誌上にて、1881年から1882年にかけて連載されていたものを一冊にまとめたものが出版された。原題は『The Sea Cook, or Treasure Island』（海のコック、あるいは宝島）であったが、後に『Treasure Island』（宝島）と改題されて広く親しまれるようになる。そもそもは、スチーブンソンが妻の連れ子であったロイド少年のために書いたもの。[1]伝統的には教養小説として捉えられているが、登場する人物やアクション要素の多彩さから冒険小説として知られている。特に海賊ジョン・シルバーの不道徳な挙動は児童文学としては珍しい。
最も頻繁に劇やテレビドラマ、映画、アニメなどの題材になっている物語の1つである。イギリスの放送局、BBCだけでも少なくとも3度、テレビ化している。最近では、ディズニーが2002年にアメリカで『トレジャー・プラネット』として宇宙に舞台を変えて公開されている。これを元にした手塚治虫の漫画作品「新宝島」とは別。この他中沢啓治が原作に忠実に漫画化している。
本が有名になったために、宝島という言葉が一般に広まり、ゲームや遊園地の乗り物などに使われるようになっている。

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com